

授業計画書(シラバス)

タイトル	内容																														
授業科目	一般教養 I																														
実務家教員授業																															
学部・学科	医療事務学科 保育士・幼稚園教諭コース																														
履修年次	1年次																														
開講学期	前期																														
科目区分	必修																														
授業方法	講義																														
授業時間	30時間																														
授業回数	15回																														
授業概要	一般教養として、社会で求められる漢字の知識を身に付ける。																														
授業の進め方	問題集に基づき、指定された範囲の確認テストを実施する。																														
達成目標	日本ビジネス技能検定協会漢字検定2級に合格する。																														
教科書	問題集・プリント																														
特記																															
授業計画	<table border="1"> <tr><td>1</td><td>訓読み・送り仮名 1</td></tr> <tr><td>2</td><td>訓読み・送り仮名 2</td></tr> <tr><td>3</td><td>熟語 1</td></tr> <tr><td>4</td><td>熟語 2</td></tr> <tr><td>5</td><td>熟語 3</td></tr> <tr><td>6</td><td>異字同訓・同音異義</td></tr> <tr><td>7</td><td>誤字訂正 1</td></tr> <tr><td>8</td><td>誤字訂正 2・類義語</td></tr> <tr><td>9</td><td>反対語</td></tr> <tr><td>10</td><td>漢字の意味・使い方 1</td></tr> <tr><td>11</td><td>漢字の意味・使い方 2</td></tr> <tr><td>12</td><td>項目別模擬試験 1</td></tr> <tr><td>13</td><td>項目別模擬試験 2</td></tr> <tr><td>14</td><td>直前模擬試験 1</td></tr> <tr><td>15</td><td>直前模擬試験 2</td></tr> </table>	1	訓読み・送り仮名 1	2	訓読み・送り仮名 2	3	熟語 1	4	熟語 2	5	熟語 3	6	異字同訓・同音異義	7	誤字訂正 1	8	誤字訂正 2・類義語	9	反対語	10	漢字の意味・使い方 1	11	漢字の意味・使い方 2	12	項目別模擬試験 1	13	項目別模擬試験 2	14	直前模擬試験 1	15	直前模擬試験 2
1	訓読み・送り仮名 1																														
2	訓読み・送り仮名 2																														
3	熟語 1																														
4	熟語 2																														
5	熟語 3																														
6	異字同訓・同音異義																														
7	誤字訂正 1																														
8	誤字訂正 2・類義語																														
9	反対語																														
10	漢字の意味・使い方 1																														
11	漢字の意味・使い方 2																														
12	項目別模擬試験 1																														
13	項目別模擬試験 2																														
14	直前模擬試験 1																														
15	直前模擬試験 2																														
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における得点で評価																														
備考																															

授業計画書(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	キャリアデザイン I
実務家教員授業	
学部・学科	医療事務学科 保育士・幼稚園教諭コース
履修年次	1年次
開講学期	前期
科目区分	必修
授業方法	講義
授業時間	30時間
授業回数	15回
授業概要	面接試験で求められるビジネスマナーの基礎を学ぶ。
授業の進め方	座学を基に実技練習を行い、効果測定を行う
達成目標	面接時の入退室及び自己PRが出来るようになる。
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 面接の基本 2 入退室の仕方・身嗜みチェック 3 入退室効果測定 4 自己PR作成1 5 自己PR作成2 6 自己PR作成3 7 自己PR効果測定 8 面接質問項目1 9 面接質問項目2 10 面接質問項目3 11 面接効果測定 12 受験先シミュレーション 13 面接カードの作成 14 模擬面接試験(効果測定) 15 模擬面接試験の検証
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定
備考	

授業計画書(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	キャリアデザインⅡ	
実務家教員授業		
学部・学科	医療事務学科 保育士・幼稚園教諭コース	
履修年次	1年次	
開講学期	通年(後期)	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	30時間	
授業回数	15回	
授業概要	面接試験に向けての準備作業や集団・個人での実践練習を行う	
授業の進め方	前半は座学中心になるが、後半は本番形式の模擬面接を実施する	
達成目標	自然な会話の中で好印象を与え、自分らしさを表現できる	
教科書	なし	
特記		
授業計画	1	自己分析 1
	2	自己分析 2
	3	自己分析 3
	4	自己PR 考察 1
	5	自己PR 考察 2
	6	職種研究 1
	7	職種研究 2
	8	職種研究 3
	9	志望動機整理 1
	10	志望動機整理 2
	11	模擬集団面接 1
	12	模擬集団面接 2
	13	模擬集団面接 3
	14	集団討論レクチャー
	15	模擬集団討論
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢	
備考		

授業計画書(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	医療キャリアデザイン I
実務家教員授業	
学部・学科	医療事務学科 保育士・幼稚園教諭コース
履修年次	1年次
開講学期	通年
科目区分	必修
授業方法	講義
授業時間	30時間
授業回数	15回
授業概要	就職活動の心構え・準備内容を理解する
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る
達成目標	就職活動に対する意識付け及び実践的な演習により、活動の準備を万全に行う
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 就職の心構え 2 職業理解 3 自己分析① 4 自己分析② 5 自己PR 6 志望動機 7 作文・小論文 8 履歴書作成 9 一般常識 10 適性検査 11 質疑応答① 12 質疑応答② 13 面接試験 14 面接試験演習① 15 面接試験演習②
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、実践スキルの習熟状況
備考	

授業計画書(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	秘書実践
実務家教員授業	
学部・学科	医療事務学科 保育士・幼稚園教諭コース
履修年次	1年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	30時間
授業回数	15回
授業概要	来客者に対する応対マナーや対応方法を身に付ける
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る
達成目標	全年齢層に対する適切な対応ができるようになる
教科書	オリジナルテキスト、保育所保育指針
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 社会人としてのマナー（言葉遣い、態度） 2 社会人としてのマナー（表情、アイコンタクト） 3 社会人としてのマナー（挨拶、お辞儀） 4 社会人としてのマナー（挨拶の基本フレーズ） 5 立ち居振る舞い、聞く聴く 6 来訪者に対する受付の流れ 7 基本応対事例の確認及びトレーニング 8 確認テスト 9 マニュアルにとらわれない自然な声掛け、聴く姿勢 10 メモの取り方 11 来客受付の一連の流れ 12 来客応対 実技演習① 13 来客応対 実技演習② 14 来客応対 効果測定① 15 来客応対 効果測定②
成績評価方法 (試験実施方法)	出席と実技試験により評価する。
備考	

授業計画書(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	医学と疾病
実務家教員授業	
学部・学科	医療事務学科 保育士・幼稚園教諭コース
履修年次	1年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	30時間
授業回数	15回
授業概要	人体の基本的な仕組みや働き及び疾病について理解する
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	人体構造の基礎と子どものかかりやすい疾病を理解する
教科書	子どもの健康と安全、厚生労働省が発信する関連ガイドライン
特記	
授業計画	1 人体の仕組み：構造① 2 人体の仕組み：構造② 3 人体の仕組み：構造③ 4 人体の仕組み：構造④ 5 人体の働き：機能① 6 人体の働き：機能② 7 人体の働き：機能③ 8 人体の働き：機能④ 9 疾病予防の基本 10 主な疾病と対応① 11 主な疾病と対応② 12 主な疾病と対応③ 13 主な疾病と対応④ 14 主な疾病と対応⑤ 15 確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	出席と試験により評価する。
備考	

授業計画書(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	小児援助技術 I
実務家教員授業	
学部・学科	医療事務学科 保育士・幼稚園教諭コース
履修年次	1年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	60時間
授業回数	30回
授業概要	乳児、幼児とのかかわり方を演習を通して学ぶ
授業の進め方	問題演習と解説に加え、グループワークや実践トレーニングを通して実践力を養う
達成目標	子どもの個別対応方法を身につける
教科書	保育所保育指針、子どもの発達理解と援助
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 保育における子どもの理解 2 表現演習① 3 子どもに対する関わりと共感的理解 4 表現演習② 5 子どもの生活や遊び 6 表現演習③ 7 保育の人的環境としての保育者と子どもの発達 8 表現演習④ 9 子ども相互の関わりと関係づくり 10 表現演習⑤ 11 集団における経験と育ち 12 個別援助① 13 発達における葛藤やつまずき 14 個別援助② 15 保育の環境の理解と構成 16 個別援助③ 17 環境の変化や移行 18 個別援助④ 19 子ども理解のための観察・記録と省察・評価 20 個別援助⑤ 21 子ども理解のための職員間の対話 22 個別援助⑥ 23 子ども理解のための保護者との情報共有 24 個別援助⑦ 25 発達の課題に応じた援助と関わり 26 個別援助⑧ 27 特別な配慮を要する子どもの理解と援助 28 個別援助⑨ 29 発達の連続性と就学への支援 30 効果測定
成績評価方法 (試験実施方法)	出席と実技試験により評価する。
備考	

授業計画書(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	小児援助技術Ⅱ
実務家教員授業	
学部・学科	医療事務学科 保育士・幼稚園教諭コース
履修年次	1年次
開講学期	通年
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	60時間
授業回数	30回
授業概要	小児援助技術Ⅰで学んだ基礎を基に、自ら乳児、幼児とのかかわり方を考える
授業の進め方	問題演習と解説に加え、グループワークや実践トレーニングを通して実践力を養う
達成目標	自ら対応方法の計画を立て対応方法を身につける
教科書	保育所保育指針、子どもの発達理解と援助
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 子ども理解と保育のつながり 2 子どもの活動内容① 3 子どもの活動内容② 4 子どもの活動内容③ 5 場面を想定した保育の活動内容の実践① 6 場面を想定した保育の活動内容の実践② 7 場面を想定した保育の活動内容の実践③ 8 指導案の作成① 9 指導案の作成② 10 指導案の作成③ 11 指導案の作成④ 12 指導案の作成⑤ 13 指導案の作成⑥ 14 指導案の作成⑦ 15 指導案の作成⑧ 16 指導案に基づく実技① 17 指導案に基づく実技② 18 指導案に基づく実技③ 19 指導案に基づく実技④ 20 指導案に基づく実技⑤ 21 指導案に基づく実技⑥ 22 指導案に基づく実技⑦ 23 指導案に基づく実技⑧ 24 指導案に基づく実技⑨ 25 指導案に基づく実技⑩ 26 指導案に基づく実技⑪ 27 指導案に基づく実技⑫ 28 指導案に基づく実技⑬ 29 指導案に基づく実技⑭ 30 効果測定
成績評価方法 (試験実施方法)	出席と実技試験により評価する。
備考	

授業計画書(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	養護内容
実務家教員授業	
学部・学科	医療事務学科 保育士・幼稚園教諭コース
履修年次	1年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	60時間
授業回数	30回
授業概要	養護を実践している施設の現状を理解し、そこで必要なスキルを学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	広義の養護について全体像を把握する
教科書	社会的養護と障害児保育
特記	
授業計画	1 養護とは① 2 養護とは② 3 社会的養護の理解と概念 4 社会的養護施設の概要① 5 社会的養護施設の概要② 6 社会的養護施設の概要③ 7 家庭養護の概要① 8 家庭養護の概要② 9 施設養護の専門職① 10 施設養護の専門職② 11 日常生活支援とは① 12 日常生活支援とは② 13 治療的支援とは① 14 治療的支援とは② 15 自立支援とは① 16 自立支援とは② 17 専門職の連携① 18 専門職の連携② 19 地域医療・地域福祉・地域ネットワーク① 20 地域医療・地域福祉・地域ネットワーク② 21 社会資源① 22 社会資源② 23 地域の社会資源調査① 24 地域の社会資源調査② 25 地域の社会資源調査③ 26 地域の社会資源調査④ 27 地域の社会資源調査⑤ 28 地域の社会資源調査⑥ 29 調査結果発表① 30 調査結果発表②
成績評価方法 (試験実施方法)	出席とレポートにより評価する。
備考	

授業計画書(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	施設実習 V
実務家教員授業	○
学部・学科	医療事務学科 保育士・幼稚園教諭コース
履修年次	1年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	実習
授業時間	60時間
授業回数	30回
授業概要	施設職員として必要な基礎知識や基礎技術を学ぶ
授業の進め方	有識者の指導を基に実践的な知識や技術を学ぶ
達成目標	施設内で行う施設職員の様々な業務内容を理解し、実践できるようにする
教科書	実習の記録と指導案、実習日誌
特記	実務家教員は、保険医療機関又は福祉施設等で勤務している現役の職員
授業計画	1 現場実習 (オリエンテーション) ① 2 現場実習 (オリエンテーション) ② 3 現場実習 (見学・観察) ① 4 現場実習 (見学・観察) ② 5 現場実習 (見学・観察) ③ 6 現場実習 (見学・観察) ④ 7 現場実習 (見学・観察) ⑤ 8 現場実習 (見学・観察) ⑥ 9 現場実習 (見学・観察) ⑦ 10 現場実習 (見学・観察) ⑧ 11 現場実習 (参加体験) ① 12 現場実習 (参加体験) ② 13 現場実習 (参加体験) ③ 14 現場実習 (参加体験) ④ 15 現場実習 (参加体験) ⑤ 16 現場実習 (参加体験) ⑥ 17 現場実習 (参加体験) ⑦ 18 現場実習 (参加体験) ⑧ 19 現場実習 (参加体験) ⑨ 20 現場実習 (参加体験) ⑩ 21 現場実習 (参加体験) ⑪ 22 現場実習 (参加体験) ⑫ 23 現場実習 (部分実習) ① 24 現場実習 (部分実習) ② 25 現場実習 (部分実習) ③ 26 現場実習 (部分実習) ④ 27 現場実習 (部分実習) ⑤ 28 現場実習 (部分実習) ⑥ 29 現場実習 (部分実習) ⑦ 30 現場実習 (部分実習) ⑧
成績評価方法 (試験実施方法)	実習内容・実習簿評価により評価する。
備考	

授業計画書(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	実習事前指導
実務家教員授業	
学部・学科	医療事務学科 保育士・幼稚園教諭コース
履修年次	1年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	30時間
授業回数	15回
授業概要	施設実習を円滑に進めるための知識・技術・態度について学ぶ
授業の進め方	グループワークと実技演習
達成目標	施設内で行う施設職員の様々な職業内容を理解する
教科書	実習の記録と指導案、保育専門職と保育実践、配布プリント・資料
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 実習の概要・意義・目的の確認 2 実習先研究① 3 実習先研究② 4 実習先研究③ 5 実習生としての心構えの確認 6 実習生マナー① 7 実習生マナー② 8 実習生マナー③ 9 実習計画について 10 実習計画に基づく保育実践 11 考察について 12 考察について 13 日誌・記録の取り方① 14 日誌・記録の取り方② 15 日誌・記録の取り方③
成績評価方法 (試験実施方法)	出席と実技試験により評価する。
備考	

授業計画書(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	ボランティア実践
実務家教員授業	○
学部・学科	医療事務学科 保育士・幼稚園教諭コース
履修年次	1年次
開講学期	通年
科目区分	選択
授業方法	実習
授業時間	60時間
授業回数	30回
授業概要	ボランティア活動について学び、体験を通して対応スキルを向上させる
授業の進め方	希望の職種(病院や施設)などの外部施設でボランティア活動を行う
達成目標	ボランティアマインドを実践を通して学ぶ
教科書	配布プリント・資料
特記	実務家教員は、保険医療機関、福祉施設等で勤務している現役の職員
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 ボランティア活動とは 2 ボランティア活動と実習の違い 3 ボランティア活動の心構え① 4 ボランティア活動の心構え② 5 さまざまなボランティア 6 ボランティア活動方法① 7 ボランティア活動方法② 8 ボランティア活動方法③ 9 学内ボランティア実践又は外部ボランティア① 10 学内ボランティア実践又は外部ボランティア② 11 学内ボランティア実践又は外部ボランティア③ 12 学内ボランティア実践又は外部ボランティア④ 13 学内ボランティア実践又は外部ボランティア⑤ 14 学内ボランティア実践又は外部ボランティア⑥ 15 学内ボランティア実践又は外部ボランティア⑦ 16 学内ボランティア実践又は外部ボランティア⑧ 17 学内ボランティア実践又は外部ボランティア⑨ 18 学内ボランティア実践又は外部ボランティア⑩ 19 学内ボランティア実践又は外部ボランティア⑪ 20 学内ボランティア実践又は外部ボランティア⑫ 21 学内ボランティア実践又は外部ボランティア⑬ 22 学内ボランティア実践又は外部ボランティア⑭ 23 学内ボランティア実践又は外部ボランティア⑮ 24 学内ボランティア実践又は外部ボランティア⑯ 25 学内ボランティア実践又は外部ボランティア⑰ 26 学内ボランティア実践又は外部ボランティア⑱ 27 ボランティア活動報告① 28 ボランティア活動報告② 29 ボランティア活動報告③ 30 ボランティア活動報告④
成績評価方法 (試験実施方法)	出席とレポートにより評価する。
備考	

授業計画書(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	音楽ケアの基礎 I	
実務家教員授業		
学部・学科	医療事務学科 保育士・幼稚園教諭コース	
履修年次	1年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
授業時間	30時間	
授業回数	15回	
授業概要	音楽がもつ様々な効果や影響について学ぶ	
授業の進め方	講義と実技を通して学ぶ	
達成目標	子どもの前で実践できるようにする	
教科書	幼児のための音楽教育、配布プリント	
特記		
授業計画	1	音楽の重要性
	2	音楽の効果①
	3	音楽の効果②
	4	音楽ケアの実践①
	5	音楽ケアの実践②
	6	音楽ケアの実践③
	7	音楽ケアの実践④
	8	音楽ケアの実践⑤
	9	音楽ケアの実践⑥
	10	音楽ケアの実践⑦
	11	音楽ケアの実践⑧
	12	音楽ケアの実践⑨
	13	音楽ケアの実践⑩
	14	音楽ケアの実践⑪
	15	音楽ケアの実践⑫
成績評価方法 (試験実施方法)	出席と実技試験により評価する。	
備考		

授業計画書(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	小児援助実践 I
実務家教員授業	
学部・学科	医療事務学科 保育士・幼稚園教諭コース
履修年次	1年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	30時間
授業回数	15回
授業概要	乳児、幼児とのかかわり方を演習を通して学ぶ
授業の進め方	問題演習と解説に加え、グループワークや実践トレーニングを通して実践力を養う
達成目標	子どもの個別対応方法を身につける
教科書	保育専門職と保育実践
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 乳児・幼児研究① 2 乳児・幼児研究② 3 乳児・幼児研究③ 4 乳児・幼児研究④ 5 乳児とのかかわり① 6 乳児とのかかわり② 7 幼児とのかかわり① 8 幼児とのかかわり② 9 乳児に合わせた対応計画の作成① 10 乳児に合わせた対応計画の作成② 11 幼児に合わせた対応計画の作成① 12 幼児に合わせた対応計画の作成② 13 乳児・幼児の対応計画に基づく演習① 14 乳児・幼児の対応計画に基づく演習② 15 乳児・幼児の対応計画に基づく演習③
成績評価方法 (試験実施方法)	出席と実技試験により評価する。
備考	

授業計画書(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	小児援助実践Ⅱ
実務家教員授業	
学部・学科	医療事務学科 保育士・幼稚園教諭コース
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	60時間
授業回数	30回
授業概要	乳児、幼児とのかかわり方を演習を通して学ぶ
授業の進め方	問題演習と解説に加え、グループワークや実践トレーニングを通して実践力を養う
達成目標	子どもの集団対応方法を身につける
教科書	保育専門職と保育実践
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 子どもに対する共感的理解について① 2 子どもに対する共感的理解について② 3 子どもに対する共感的理解について③ 4 子どもを理解する視点を考える① 5 子どもを理解する視点を考える② 6 子どもを理解する視点を考える③ 7 子ども相互の関わりと関係づくりを築くための実践的な働きかけ① 8 子ども相互の関わりと関係づくりを築くための実践的な働きかけ② 9 子ども相互の関わりと関係づくりを築くための実践的な働きかけ③ 10 特別な配慮を要する子どもの理解と援助について① 11 特別な配慮を要する子どもの理解と援助について② 12 特別な配慮を要する子どもの理解と援助について③ 13 子育て支援・家庭支援における子どもの理解① 14 子育て支援・家庭支援における子どもの理解② 15 子育て支援・家庭支援における子どもの理解③ 16 個別・集団演習① 17 個別・集団演習② 18 個別・集団演習③ 19 個別・集団演習④ 20 個別・集団演習⑤ 21 個別・集団演習⑥ 22 個別・集団演習⑦ 23 個別・集団演習⑧ 24 個別・集団演習⑨ 25 個別・集団演習⑩ 26 個別・集団演習⑪ 27 個別・集団演習⑫ 28 個別・集団演習⑬ 29 個別・集団演習⑭ 30 個別・集団演習⑮
成績評価方法 (試験実施方法)	出席と実技試験により評価する。
備考	

授業計画書(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	障害児（者）援助論
実務家教員授業	
学部・学科	医療事務学科 保育士・幼稚園教諭コース
履修年次	1年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	30時間
授業回数	15回
授業概要	障害児や障害者の支援方法を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	障害への理解と援助方法を理解する
教科書	社会的養護と障害児保育
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 対象別にみた障害の理解① 2 対象別にみた障害の理解② 3 対象別にみた障害の理解③ 4 対象別にみた障害の理解④ 5 対象別にみた障害の理解⑤ 6 障害児（者）自立支援① 7 障害児（者）自立支援② 8 障害児（者）自立支援③ 9 事例研究① 10 事例研究② 11 事例研究③ 12 事例研究④ 13 支援者の理解① 14 支援者の理解② 15 障害児（者）福祉の今後の課題
成績評価方法 (試験実施方法)	出席と試験により評価する。
備考	

授業計画書(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	卒業研究
実務家教員授業	
学部・学科	医療事務学科 保育士・幼稚園教諭コース
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	30時間
授業回数	15回
授業概要	個人・グループにて研究項目を選択し、研究を進めより知識を深める
授業の進め方	個人研究、グループ研究、全体発表
達成目標	卒業後必要となる知識・技術の理解を深める
教科書	オリジナルテキスト・レジュメ
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 卒業研究に関する学習の進め方 2 研究テーマの理解 3 研究テーマの決定 4 研究テーマの個人研究① 5 研究テーマの個人研究② 6 研究テーマの個人研究③ 7 研究テーマの個人研究④ 8 研究テーマの個人研究⑤ 9 グループ研究① 10 グループ研究② 11 グループ研究③ 12 グループ研究④ 13 グループ研究⑤ 14 研究発表① 15 研究発表②
成績評価方法 (試験実施方法)	出席とレポートにより評価する。
備考	

授業計画書(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	パソコン演習
実務家教員授業	
学部・学科	医療事務学科 保育士・幼稚園教諭コース
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	30時間
授業回数	15回
授業概要	パソコンでの演習を通して操作方法を学ぶ
授業の進め方	テキスト、配布プリントを使用して実践力を養う
達成目標	卒業後必要となる知識・技術を身につける
教科書	オリジナルテキスト、配布プリント
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 パソコンの基本的操作とインターネットの利用法、ネチケット 2 文書の作成と管理 3 一般的なビジネス文書の作成 4 シンプルなレポートや報告書の作成 5 ビジネス文書の作成方法の復習 6 イラストや図形を使ったビジュアルな文書の作成 7 写真の挿入や加工方法① 8 写真の挿入や加工方法② 9 画像の編集方法① 10 画像の編集方法② 11 画像の編集方法③ 12 HPの作成・活用方法① 13 HPの作成・活用方法② 14 HPの作成・活用方法③ 15 HPの作成・活用方法④
成績評価方法 (試験実施方法)	出席と課題提出、試験により評価する。
備考	

授業計画書(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	小児援助実践Ⅲ
実務家教員授業	
学部・学科	医療事務学科 保育士・幼稚園教諭コース
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	30時間
授業回数	15回
授業概要	環境ごとの乳児、幼児とのかかわり方を演習を通して学ぶ
授業の進め方	問題演習と解説に加え、グループワークや実践トレーニングを通して実践力を養う
達成目標	環境の特徴を生かした乳児・幼児のかかわり方を身につける
教科書	配布プリント・資料
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 乳児、幼児に必要な環境構成 2 健康に配慮した環境とは 3 安心・安全な環境とは 4 異年齢の集団に対する援助実践 5 屋内での援助実践① 6 屋内での援助実践② 7 屋内での援助実践③ 8 屋内での援助実践④ 9 屋外での援助実践① 10 屋外での援助実践② 11 屋外での援助実践③ 12 屋外での援助実践④ 13 屋外での援助実践⑤ 14 季節を考慮した援助実践① 15 季節を考慮した援助実践②
成績評価方法 (試験実施方法)	出席と実技試験により評価する。
備考	

授業計画書(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	小児援助実践Ⅳ
実務家教員授業	
学部・学科	医療事務学科 保育士・幼稚園教諭コース
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	30時間
授業回数	15回
授業概要	自ら設定した対象に対し、援助計画の立案、実践の流れを演習を通して学ぶ
授業の進め方	問題演習と解説に加え、グループワークや実践トレーニングを通して実践力を養う
達成目標	対象の研究、援助計画の立案、実践技術を一連の流れを通して身につける
教科書	配布プリント・資料
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 援助計画について 2 対象に合わせた援助計画の作成① 3 対象に合わせた援助計画の作成② 4 対象に合わせた援助計画の作成③ 5 対象に合わせた援助計画の作成④ 6 対象に合わせた援助計画の作成⑤ 7 対象に合わせた援助実践① 8 対象に合わせた援助実践② 9 対象に合わせた援助実践③ 10 対象に合わせた援助実践④ 11 対象に合わせた援助実践⑤ 12 対象に合わせた援助実践⑥ 13 対象に合わせた援助実践⑦ 14 対象に合わせた援助実践⑧ 15 対象に合わせた援助実践⑨
成績評価方法 (試験実施方法)	出席と実技試験により評価する。
備考	

授業計画書(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	小児援助実践V
実務家教員授業	
学部・学科	医療事務学科 保育士・幼稚園教諭コース
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	30時間
授業回数	15回
授業概要	遊びを通して乳児、幼児とのかかわり方を学ぶ
授業の進め方	問題演習と解説に加え、グループワークや実践トレーニングを通して実践力を養う
達成目標	安全、環境構成など様々な配慮点を身に付ける
教科書	楽しさを通じた心の元気づくり
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 乳児、幼児に必要な環境構成 2 健康に配慮した環境とは 3 安心・安全な環境とは 4 異年齢の集団に対する運動あそび援助実践 5 屋内での運動あそび援助実践① 6 屋内での運動あそび援助実践② 7 屋内での運動あそび援助実践③ 8 屋内での運動あそび援助実践④ 9 屋外での運動あそび援助実践① 10 屋外での運動あそび援助実践② 11 屋外での運動あそび援助実践③ 12 屋外での運動あそび援助実践④ 13 屋外での運動あそび援助実践⑤ 14 季節を考慮した運動あそび援助実践① 15 季節を考慮した運動あそび援助実践②
成績評価方法 (試験実施方法)	出席と実技試験により評価する。
備考	

授業計画書(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	小児援助実践VI
実務家教員授業	
学部・学科	医療事務学科 保育士・幼稚園教諭コース
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	30時間
授業回数	15回
授業概要	運動を通して乳児、幼児とのかかわり方を学ぶ
授業の進め方	問題演習と解説に加え、グループワークや実践トレーニングを通して実践力を養う
達成目標	運動の効果、楽しさを学ぶ
教科書	楽しさを通した心の元気づくり
特記	
授業計画	1 援助計画について 2 対象に合わせた運動あそびの援助計画の作成① 3 対象に合わせた運動あそびの援助計画の作成② 4 対象に合わせた運動あそびの援助計画の作成③ 5 対象に合わせた運動あそびの援助計画の作成④ 6 対象に合わせた運動あそびの援助計画の作成⑤ 7 対象に合わせた運動あそびの援助実践① 8 対象に合わせた運動あそびの援助実践② 9 対象に合わせた運動あそびの援助実践③ 10 対象に合わせた運動あそびの援助実践④ 11 対象に合わせた運動あそびの援助実践⑤ 12 対象に合わせた運動あそびの援助実践⑥ 13 対象に合わせた運動あそびの援助実践⑦ 14 対象に合わせた運動あそびの援助実践⑧ 15 対象に合わせた運動あそびの援助実践⑨
成績評価方法 (試験実施方法)	出席と実技試験により評価する。
備考	

授業計画書(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	音楽ケアの基礎Ⅱ
実務家教員授業	
学部・学科	医療事務学科 保育士・幼稚園教諭コース
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	30時間
授業回数	15回
授業概要	音楽がもつ様々な効果と音楽教育の重要性を学ぶ
授業の進め方	講義と実技を通して学ぶ
達成目標	音楽ケアの基礎を身につける
教科書	ダルクローズシステムによるリトミック、リズム練習とソルフェージュ1
特記	
授業計画	1 童謡を使った音楽ケア実践① 2 童謡を使った音楽ケア実践② 3 童謡を使った音楽ケア実践③ 4 童謡を使った音楽ケア実践④ 5 童謡を使った音楽ケア実践⑤ 6 童謡を使った音楽ケア実践⑥ 7 童謡を使った音楽ケア実践⑦ 8 童謡を使った音楽ケア実践⑧ 9 童謡を使った音楽ケア実践⑨ 10 童謡を使った音楽ケア実践⑩ 11 童謡を使った音楽ケア実践⑪ 12 童謡を使った音楽ケア実践⑫ 13 童謡を使った音楽ケア実践⑬ 14 童謡を使った音楽ケア実践⑭ 15 童謡を使った音楽ケア実践⑮
成績評価方法 (試験実施方法)	出席と実技試験により評価する。
備考	

授業計画書(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	音楽ケアの基礎Ⅲ
実務家教員授業	
学部・学科	医療事務学科 保育士・幼稚園教諭コース
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	30時間
授業回数	15回
授業概要	音楽がもつ様々な効果と音楽教育の重要性を学ぶ
授業の進め方	講義と実技を通して学ぶ
達成目標	様々な音楽ケアを知る
教科書	ダルクローズシステムによるリトミック、リズム練習とソルフェージュ1
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 音楽が与える心理的影響① 2 音楽が与える心理的影響② 3 音楽と感情① 4 音楽と感情② 5 生活の中の様々な音 6 音楽コミュニケーション① 7 音楽コミュニケーション② 8 音楽コミュニケーション③ 9 音楽コミュニケーション④ 10 音楽コミュニケーション⑤ 11 音楽コミュニケーション⑥ 12 楽器を活用した音楽ケア実践① 13 楽器を活用した音楽ケア実践② 14 楽器を活用した音楽ケア実践③ 15 楽器を活用した音楽ケア実践④
成績評価方法 (試験実施方法)	出席と実技試験により評価する。
備考	

授業計画書(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	音楽ケアの基礎Ⅳ	
実務家教員授業		
学部・学科	医療事務学科 保育士・幼稚園教諭コース	
履修年次	1年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
授業時間	30時間	
授業回数	15回	
授業概要	リズムや楽器を活用した音楽ケアを学ぶ	
授業の進め方	講義と実技を通して学ぶ	
達成目標	音楽ケアリーダーとして、実践できるようにする	
教科書	ダルクローズシステムによるリトミック、リズム練習とソルフェージュ1	
特記		
授業計画	1	音とリズムと身体①
	2	音とリズムと身体②
	3	音とリズムと身体③
	4	音とリズムと身体④
	5	音とリズムと身体⑤
	6	様々な楽器を活用した音楽ケア①
	7	様々な楽器を活用した音楽ケア②
	8	様々な楽器を活用した音楽ケア③
	9	様々な楽器を活用した音楽ケア④
	10	様々な楽器を活用した音楽ケア⑤
	11	様々な楽器を活用した音楽ケア⑥
	12	様々な楽器を活用した音楽ケア⑦
	13	様々な楽器を活用した音楽ケア⑧
	14	様々な楽器を活用した音楽ケア⑨
	15	効果測定
成績評価方法 (試験実施方法)	出席と実技試験により評価する。	
備考		

授業計画書(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	養護内容Ⅱ
実務家教員授業	
学部・学科	医療事務学科 保育士・幼稚園教諭コース
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	30時間
授業回数	15回
授業概要	様々な角度で養護を学習する
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	広義の養護について全体像を把握する
教科書	社会的養護と障害児保育
特記	
授業計画	1 養護について① 2 養護について② 3 養護について③ 4 医療と養護① 5 医療と養護② 6 医療と養護③ 7 心身の健康① 8 心身の健康② 9 心身の健康③ 10 生命の保持と情緒の安定① 11 生命の保持と情緒の安定② 12 生命の保持と情緒の安定③ 13 自立支援① 14 自立支援② 15 自立支援③
成績評価方法 (試験実施方法)	出席と試験により評価する。
備考	

授業計画書(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	養護内容Ⅲ	
実務家教員授業		
学部・学科	医療事務学科 保育士・幼稚園教諭コース	
履修年次	1年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	30時間	
授業回数	15回	
授業概要	養護を実践している施設の現状を理解し、そこで必要なスキルを学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	成長の段階での養護について把握する	
教科書	社会的養護と障害児保育	
特記		
授業計画	1	小児の発達段階①
	2	小児の発達段階②
	3	小児の発達段階③
	4	小児の発達段階④
	5	小児の発達段階⑤
	6	小児の心理①
	7	小児の心理②
	8	小児の心理③
	9	小児の心理④
	10	小児の心理⑤
	11	地域医療・地域福祉の活用①
	12	地域医療・地域福祉の活用②
	13	地域医療・地域福祉の活用③
	14	地域医療・地域福祉の活用④
	15	地域医療・地域福祉の活用⑤
成績評価方法 (試験実施方法)	出席と試験により評価する。	
備考		

授業計画書(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	相談支援法
実務家教員授業	
学部・学科	医療事務学科 保育士・幼稚園教諭コース
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	30時間
授業回数	15回
授業概要	相談援助が必要な方に対する支援方法を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	相談支援に必要な知識、技術、支援方法を理解する
教科書	配布プリント・資料
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 相談支援の基本 2 相談支援が必要な様々な場面 3 相談支援に必要な技術① 4 相談支援に必要な技術② 5 相談支援に必要な技術③ 6 相談支援に必要な技術④ 7 DVの事例およびその保護者支援① 8 DVの事例およびその保護者支援② 9 DVの事例およびその保護者支援③ 10 障害受容の事例および保護者支援① 11 障害受容の事例および保護者支援② 12 障害受容の事例および保護者支援③ 13 個人面談について 14 個人面談事例研究 15 相談援助のまとめ
成績評価方法 (試験実施方法)	出席と試験により評価する。
備考	

授業計画書(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	表現と言葉
実務家教員授業	
学部・学科	医療事務学科 保育士・幼稚園教諭コース
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	30時間
授業回数	15回
授業概要	保育所保育指針に示す5領域のうち「表現」について演習を通して学ぶ
授業の進め方	問題演習と解説に加え、グループワークや実践トレーニングを通して実践力を養う
達成目標	対象年齢に合わせた言葉掛けやアプローチ方法を身につける
教科書	保育所保育指針
特記	
授業計画	1 表現とは 2 5領域における表現① 3 5領域における表現② 4 素話① 5 素話② 6 素話③ 7 様々な表現① 8 様々な表現② 9 様々な表現③ 10 様々な表現④ 11 様々な表現⑤ 12 様々な表現⑥ 13 年齢に合わせた言葉掛け① 14 年齢に合わせた言葉掛け② 15 効果測定
成績評価方法 (試験実施方法)	出席と実技試験により評価する。
備考	

授業計画書(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	接遇論マナー実践
実務家教員授業	
学部・学科	医療事務学科 保育士・幼稚園教諭コース
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	30時間
授業回数	15回
授業概要	基本的なビジネススキルの向上
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る
達成目標	身に着けた知識や技能を実際に仕事上で活かせるようになる
教科書	配布プリント・資料
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 挨拶（言葉遣い）の必要性 2 基本的な言葉遣い 3 クッション言葉 4 状況に応じた言葉遣い 5 笑顔・お辞儀 6 基本的な電話応対 7 応用的な電話応対 8 電話応対演習① 9 電話応対演習② 10 電話応対演習③ 11 電話応対演習④ 12 電話応対演習⑤ 13 名刺交換① 14 名刺交換② 15 効果測定
成績評価方法 (試験実施方法)	出席と実技試験により評価する。
備考	

授業計画書(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	ビジネスマナー実践
実務家教員授業	
学部・学科	医療事務学科 保育士・幼稚園教諭コース
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	30時間
授業回数	15回
授業概要	業界、企業、施設で必要なマナーを演習を通して学ぶ
授業の進め方	問題演習と解説に加え、グループワークや実践トレーニングを通して実践力を養う
達成目標	社会人としての意識の向上を図る
教科書	オリジナルテキスト・配布プリント・資料
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 社会人と学生との違い（働くとは） 2 仕事選びの基準 3 業界研究 4 企業研究① 5 企業研究② 6 企業研究③ 7 企業研究④ 8 様々な社会保障について 9 他業種との連携① 10 他業種との連携② 11 業界時事① 12 業界時事② 13 業界時事③ 14 業界時事④ 15 効果測定
成績評価方法 (試験実施方法)	出席と実技試験により評価する。
備考	